

## 税金の大切さ

新庄市立新庄中学校 3年 藤原 未憂

私は毎晩コルセットを装着して寝ています。私の上半身をかたく固定するものです。苦しいし、重いし、動きづらいし、できれば着けたくありません。しかし、私はこのコルセットのおかげで税金の大切さを理解することができました。

私は中学二年生の時、脊椎側わん症と診断されました。正常なら真っ直ぐなはずの背骨が曲がってしまう病気です。痛みはありませんでしたが、私は重症で背骨を金属で真っ直ぐに固定する手術をする必要があると言われました。手術後のレントゲン写真を見せてもらったのですが、鳥肌がたちました。自分の体の中に金属が入ることに萎縮したのです。しかし、症状は刻一刻と進行していきます。勉学のことも考え高校一年生の夏休みに行くことになりました。それまでの間はこれ以上進行しないように、寝ている間はコルセットで固定して過ごします。側わん症は人によって曲がり方が大きく異なるので一人一人に合ったコルセットを作る必要があります。そのため製作するのに十七万円もかかります。冷蔵庫や洗濯機が買ってしまうほどの金額です。最初に聞いた時は不安になりました。代金を払うのは父です。経済的に負担になるはずですが、娘の病気に、手術に、十七万円。私自身は手術の経験もなく、痛みの予想もつかず、実感が湧かなかったのですが、父は心労が大きかったはずですが、そんな時、病院の方から育成医療のお話を聞きました。育成医療とは身体上障がいをもつ児童又は現存する疾患を放置すると、将来において障がいを残すと認められる児童が治療効果が期待できる自立支援医療を受けたとき自立支援医療費が支給される制度です。私の場合は放置すると将来、肺や心臓が圧迫され肺活量や余命に支障をきたすので育成医療で治療を受けることができました。それによりコルセットの製作費がほぼ全額が手元に返ってきました。私は家族の負担が減ることにとっても安心しました。しかし、その十七万円は一体誰が支払っているのだろう。という疑問が浮かびました。新庄市の医療制度なので市がどうやって収入を得ているか調べてみたところ、市民から税金を徴収して主な収入を得ていることが分かりました。私は身近な税である消費税をなんとなく支払い、使い道も理解していないまま、値段が上がるからなくなればいいのにと思っていました。しかし、私はその税金の恩恵を大いに受けていたのです。税金はとても大切なものだと、理解しました。税金は私のように病気になった人やその家族の負担を軽減してくれます。私は自分が払う税金で誰かを救うことができることを身に染みて実感しました。税金を納めることはこんなにも誇らしいことなのだと理解できました。私は、子供から大人まで納税者全員が誇りを持って税金を納められる世の中になることを強く望みます。